

### 3. 評価と価値区分

メダカは絶滅危惧種にあげられているので、価値区分BもしくはCにあたる。今回の分布調査結果から、現存の状況を守る意味からすれば、釣川本流の田久橋近辺の水田地帯、朝町川本流と荒堀川、綿打川及び子下し川の合流点近辺の水田地帯、釣川本流と山田川が平行する地域の水田地帯、樽見川流域の水田地帯及び新川周辺の水田地帯が重要な地域である（図9-7）。

しかしながら、これらの地域は街の発展とともに変化が起こりやすい地域でもある。将来にわたって里の魚としてメダカを存続させるためには、上記分布域水域の上流に存在する魚類養殖が行われていない池へのメダカ放流を行い、メダカの循環型分布を考えるべき時期に来ていると思う。